

白井市文化センターのあり方検討委員会第7回会議（概要）

- 1 開催日時 令和4年8月16日（火）午後1時30分から午後4時30分まで
- 2 開催場所 白井市文化センター2階かおり（中）ホール
- 3 出席者
 - (1) 委員 小川真実委員長、三浦永司副委員長、五十嵐真人委員、土屋博之委員、比屋根健委員、山口一郎委員、関口文子委員、中島恵委員、板橋章委員、鈴木隆宗委員、藤川敦史委員、榛沢宏一委員
 - (2) 欠席者 山本美智子委員、久富清敏委員
 - (3) 事務局 本間教育部長
文化センター 高花センター長、落合副主幹、鎌田図書館長、矢ヶ部主査、芳賀係長、岸下主査補、山田学芸員
文化センターのあり方のあり方検討支援業務受託者
株式会社シアターワークショップ 伊東、佐藤、山本、真木
- 4 傍聴者 10名
- 5 議題等
 - (1) 文化センター各館の改修方法と利用可能形態について
 - (2) 第6回検討委員会で出された意見等について
 - (3) プラネタリウム館の運営経費見込額について
 - (4) 財政推計の見込額と決算額、出生率・出生数について
 - (5) 今後の文化センターのあり方に関する意見交換

（会議概要）

- ・第6回会議で要望をいただいた内容について事務局から説明を行い、その後、委員間で今後の文化センターのあり方に関する意見交換を行った。
- ・次回会議の議題は、これまでの議論の内容を踏まえ、事務局から提示された提言書案を検討することを予定している。
- ・会議で出された以下の点については、会議資料を修正し、修正後の資料を各委員に配布する。

- ① 資料1の大ホールについて、中ホール同様に縮小・維持・廃止と記載する（修正）
- ② 資料2について、方針(案)の欄の修正・バリアフリーの見直し・「子どもが大きな声を出しても迷惑にならないスペース」の事例・今回の議論で出た意見を追記する（修正）
- ③ 資料3のプラネタリウム運営費について、イニシャルコスト・人件費を組み込む（修正）

(会議内容)

- 1 開会
- 2 会長挨拶
- 3 報告事項

- (1) 文化センター各館の改修方法と利用可能形態について
- (2) 第6回検討委員会で出された意見等について
- (3) プラネタリウム館の運営経費見込額について
- (4) 財政推計の見込額と決算額、出生率・出生数について

・出された主な意見、質疑等と対応

※市職員が委員の構成メンバーの中に含まれているため、質問に対して事務局ではなく委員が回答しているものもある

(1) 文化センター各館の改修方法と利用可能形態について

委員 改修内容の中に「ネット改修工法と新たな工法」が、過去に検討した際にネット改修工法は文化センターにはそぐわないという議論があった。

事務局 ネット工法以外のことも考えていきたいということで記載している。次の設計段階のフェーズでは、天井の詳しい調査も含め他の工法も検討していきたい。

委員 縮小案を実施した場合に開催できなくなる催し物がある一方、維持費は減少するという話があったが、その効果と差は見えているのか。

事務局 効果について金額的などところは算出していない。

委員 「維持」「縮小」「廃止」の3パターンで記載するのが、今のところ公平なのではないか。図書館・郷土資料館・プラネタリウムについても今後、資料1のような設計プランを提示いただけるということか。

事務局 ホールは舞台機構等絞った議論ができ分かりやすいので今回提示した。ただ図書館・郷土資料館・プラネタリウムについてはパターンが非常に多く出てしまい、委員会での検討は困難。プラン等を詳細に具現化したものは基本設計・実施設計の次のフェーズでお示しできればと思う。

委員 資料1の縮小③について、音楽の生音・電気音響の利用が除外されているが、これは照明等の演出の都合上行えないということか。

事務局 そうだ。反射板は残す計画であり、小中学校の音楽祭程度の利用であれば十分対応ができるため、そのように記載している。

委員 中ホールを廃止した場合の金額が0.0億円となっているが、大ホールを廃止した場合は3.3億円となっている。中ホールを廃止するには全くお金がかからないということなのか。

事務局 大ホール棟と中ホール棟の計算の仕方に差があるため。大ホール棟には棟全体の撤去等の金額がかかっており、この3.3億円というのは、外壁のタイルの落下防止等の金額が含まれる。一方で中ホールの金額は、ホール機能の維持のための金額のみであるため、廃止の場合は0円とな

る。

委員 大ホールについては、これ以上は縮小できないということか。

事務局 縮小しようと思えばこれ以上のスペックダウンは可能。ただ前回の委員会で、最低限でも小中学校の音楽会や幼稚園・保育園のお遊戯会は行える機能が必要ということだったため、それらが行える範囲だとこの金額となる。

委員 体育館レベルとはどのような違いがあるか。

事務局 舞台の大きさや広さ・音の響き等は体育館のステージよりも非常に良い。また、体育館のような平土間にする場合、さらにそのための工事が必要になり金額もかさむ。

(2) 第6回検討委員会で出された意見等について

委員 大ホールの方針に縮小が打ち出されている。もちろん前回は縮小という話もあり、それを否定するつもりはないが、維持・縮小・廃止の選択肢がある前提を反映するべき。

事務局 修正する。

委員 前回、館全体のバリアフリーの見直しが必要であると発言し、法的拘束力はないということだったが、そのような記載だとバリアフリーは必要ではないととられてしまわないか。

事務局 公共施設として、必要なバリアフリーの見直しを行うという旨の内容に書きかえる。

(3) プラネタリウム館の運営経費見込額について

委員 要望のあったイニシャルコストについて記載がないのはなぜか。

事務局 イニシャルコストは整備費と想定される。3,000万円程度だったと思う。20年間で割ると年間150万円ほどの負担になるので、イニシャルコストも組み込んで修正する。

委員 運営費をみるならば人件費を組み込んで考えるべきではないか。

事務局 現状は正規職員1名、再任用1名の2名体制だが今後このまま2名体制を続けるのか不明であること、人件費が変動することも考えられるため、費用の記載ではなく2名とした。

委員 光学式プラネタリウムが20年もつという話だったが、前の機械は20年間事故なくもったのか。法定耐用年数は私が調べた限りでは6～8年だったので、20年間は長すぎないか。

事務局 前に使っていた機械を20年で買い替えた。ただ、その前にも故障があり何度か修繕していた。現在の機械は20年経っている事例が他自治体にないので、なんとも言えない。

委員 「生涯学習」「学校利用」「白井の顔」の3本柱で運営しているという話があったが、学校利用の側面を強調されていたと思う。学校の予算で工面することはできないか。

委員 難しいと思う。学校予算は学校に関する法律・たてつけの中で工面しているので、公共施設とは位置づけが異なる。

(4) 財政推計の見込額と決算額、出生率・出生数について

委員 資料4-2で推計が示されたが、文化センターの検討についてはどの程度見込まれているのか。

委員 特定天井と外壁の修理の金額を約5億円、令和7年度に借りの計画にして見込んでいる。費用は公債費にあたる。

4 議題

- ・事務局より資料に基づいて説明。
- ・出された主な意見、質疑等と対応

(1) 今後の文化センターのあり方に関する意見交換

【文化センター全体への意見】

委員 将来的にこの市に移り住む人たちが増えたり、企業や学校を持ってきたりというときに、とても有効な施設であると思われる。縮小があったとしても維持する、または一時的に止めたとしても復活するためのプランも一緒に立てるような方向で持っていけないか。市として目指しているスタイルに必要なものとして、文化センターを残していくという観点から、残すべきではないか。

委員 人口推計から今後歳入の縮小が見込まれるため、残すのは厳しいと思う。

委員 廃止とは言わずともできる限り縮小し、他の機能を併せ持つ、使っていない空間・跡地を利用し収益性のある施設を入れて集客力を高めるという取り組みが必要になる。大ホールをはじめ更なるコスト減と公共施設の効率化を図らないと、縮小しながらでも存続するのは難しい。使い方も変わるかもしれないが、それによって若者が集まる、高齢者が長く健康に暮らせるという副次的な効果が得られれば、2040年頃まではしのげるのではないか。

委員 公民館・コミュニティ施設・複合施設があるので、統合するなどの方法はないか。

委員 白井市のランドマークでもあり、今後統廃合していく施設もあると思うので、市全体で見て費用を抑えつつ、文化センターは存続してほしい。

委員 他の自治体が文化施設のパイプオルガン購入のため、クラウドファンディングを検討しているそうで、同様のことはできないか。

委員 ホール維持のためのクラウドファンディング事例も知っているが、実績や知名度がないとお金が集まらない。そのためにも若者の間で聖地になるなど、知名度を上げられたら良い。

委員 減免の割合を減らす、利用料を値上げする方法はないのか。

事務局 文化会館は市・県・国の利用は100%まで、共催の場合は50%まで減免できるという決まりがあり、プラネタリウムも市内の児童生徒については100%減免、他市の利用についても何段階かの減免がある。その再検討はできないことはない。

委員 4つの機能は全て残してほしいが、やはり縮小は考えなければならない。組織の再編・行政改革などについても知恵を出しながら取り組んでいただきたい。

委員 縮小を含めた存続、というのが今回の委員会での総意ではないか。市内の他の公共施設と統合する等して予算を確保し、生き残りを図る、その内容についてはまたさらに案が考えられてい

くと思う。

【文化会館】

委員 財政的な体力を考慮すると、大ホールを 18 億円かけて維持するメリットが見つけづらい。大ホールは廃止が現実的ではないか。

委員 特定天井の改修費用は以前提示された 2 億 4,400 万円という数字に変わりはないか。

事務局 今のところ変わらない。

委員 教育現場としては、大ホールは有効な施設なので、未来の子どもたちへの投資として残してほしい。ただ財政的な難しさも理解できたので、なんらかの収益をあげる方法を模索できないかと思う。子供たちの練習の場・発表の場として素晴らしいため。

委員 多大な金額がかからないのであれば大ホールはぜひ残してほしいと思うが、子どもたちにとって「大ホールで」発表することがそこまで必要なのか。

委員 大ホールについては、縮小しても箱の能力は減らしたくない。音響が良いので、照明は足そうと思えば足せるように工夫してはどうか。また、大ホールと体育館の違いという話もあったが、保護者の感動・子どもたちの達成感の違いは手に取るように分かった。本物の中で行う価値というのは大きくなってからしか分からないが、それは投資と考えていただきたい。

委員 大ホールは縮小案③でも学校行事はできるということであるため、市の成人式をする場も必要ではないかという思いもあり縮小継続が良い。大ホールの費用がかさむのは分かるが、成人式も行う白井の顔だと思う。他の施設を使うにしてもこの規模はなかなかない。

委員 大ホールは持っているだけで特定天井の改修費がかかるならば、屋根を外して屋外にする、バーチャルにするなど何らかの形で皆さんがおっしゃったような教育的な体験が可能になる施設を検討出来たら良い。

委員 中ホールについては収益の上がる使い方に転用することもありうる。そうすることで、少しでも費用のマイナスをプラスに転じる努力がなされれば良い。

委員 拡大・維持が難しいということ、中ホールは転用しても良いということについては合意が取れそうだ。

【図書館】

委員 図書館は残してほしい。図書館は子供たちだけでなく現役世代・高齢者も非常に多く利用される。

委員 図書館はやはり教育の要。

委員 小学校教員の立場から発言すると、図書館は子供たちの成長・経験に大きく影響していると思うので、残してほしい。

委員 図書館については、ここだけで立派な施設をもつよりも市全体で増床する・子供たちがいられる館と静かに読みたい館とのすみ分けを行うなど検討してはどうか。

委員 図書館は市に対しては規模が大きいので、縮小し空いたスペースに別の機能を置くこともありうると思う。

【プラネタリウム】

委員 プラネタリウムは残してほしい。近場にあると良い。プラネタリウムは子供たちも利用する。白井市の売りになっている施設でもある。

委員 プラネタリウムは近隣にあること、使用料では絶対に賄えないこと、利用者の70%が数年に一度程度しか来館しないこと、を踏まえると優先度は低い。プラネタリウムを廃止しても、プラネタリウムのスペースがなくなるわけではないので、子供たちのためのスペース活用を時代に合わせて検討してはどうか。

委員 プラネタリウムも転用はありうると思う。

【郷土資料館】

委員 郷土資料館も市に対して立派な館だが、そもそも他市に作るわけにはいかないの、廃止にするわけにはいかない。

委員 郷土資料館については、単体で持つよりも他の地域と比較の方が学習効果が現れやすい。広域連携協働で他の自治体と連携して作った方がより一層効果があるのではないかと。

委員 郷土資料館は転用・分散を考えても良いのではないかと。

【その他】

委員 10月に提言書素案を確認し、11月に市民意見交換会、12月にパブリックコメントがあって、令和5年1月の会議で承認するというスケジュールで進んで良いのか。パブコメや市民意見交換会が不要ということになればそれでもいいが、共通認識を持ちたい。提言書の内容がどうなるかまだ見えないか委員会としてパブコメを求めて良いのか。

委員 市民の意見を聞くことについてだが、財政的な背景をお伝えしないときちんとした回答は得られないと思う。しかし、「財政状況が厳しい」というマイナスな情報を発信することは転出の増加などデメリットが大きい。

委員 今回の委員会の構成メンバーを見た時に、経験上こんなにも多くの市民公募の委員が参加している会はなかったので、この委員会で十分市民意見を反映できるのではないかと考えた。手続きとしてパブリックコメントを省略できるのか。

事務局 この委員会内でのパブリックコメントをいただき、内部で調整することになる可能性はある。次回提言書案を提示するのでそれを踏まえて今後のスケジュールを検討してほしい。

5 その他

・特に無し

6 閉会

以上